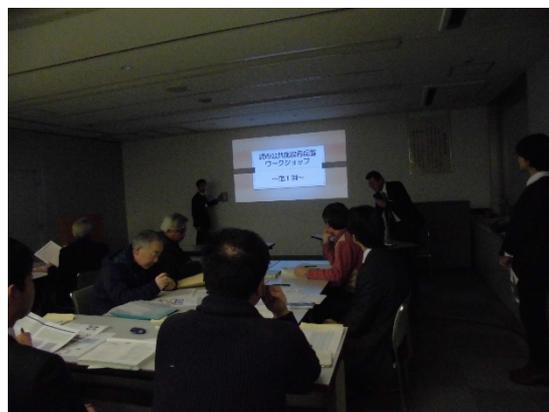


グループワーク『関市の公共施設を評価してみよう！』

1. 第1回公共施設再配置ワークショップの様子



全体的ようす



公共施設再配置に向けた取組概要の説明



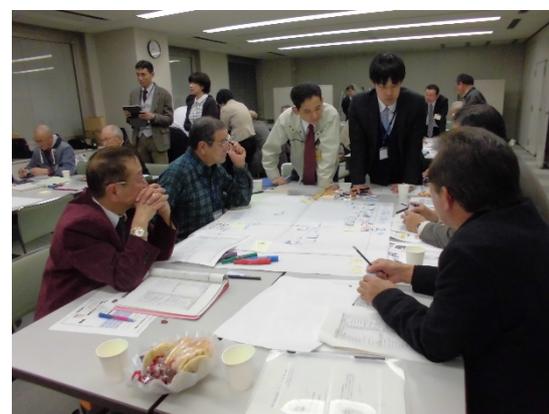
アドバイザーによる先進事例の紹介



グループワークのようす



グループワークのようす



グループワークのようす

2. 各グループの発表内容

A. 板取・洞戸チーム 1班

- 地域特性から、商業施設、観光、川遊び、釣り、温泉。学校、病院、福祉施設というくくりで、大きく分けています。地域特性として、岐阜や関から距離が、かなりあります。遠いです。
- 地域には、学校、病院の福祉施設のものは、必要というスタンスです。公共性、必要性、共に高いです。
- 商業施設に近いものは、観光が大事という地域特性から、必要性は高いが、公共性は低いという位置づけにしています。
- 例外として、板取中学校については、統合が決定していますので、機能は洞戸中学校に統合しています。建物は、今は機能がない空の状態が見込まれ、公共性、必要性も低いところに位置づけています。



A. 板取・洞戸チーム 2班

- 先ほどの1班と同様に、行政、教育、医療の公共性、必要性は共に、高いです。ただし、洞戸の老人福祉センターの、デイサービスの機能は、民間へ委託したいです。ゴールドビレッジを想定しています。老人の社会福祉、活動交流機能は、新しく新設された「ほらどキウイプラザ」に移します。これは、洞戸ふれあいセンターと、洞戸事務所の機能を集約させた施設です。こちらに、機能移します。
- 必要性は高いが、公共性が中間くらいなのが、道の駅「ラステンほらど」と、「板取川温泉」です。
- 板取川温泉は、お風呂と、物販の機能があります。本来なら、民間で運営するのが、機能として、近いという意見が出ました。しかし、温泉が赤字という実状と、地元の方の観光振興、活性化の為に、必要性としては、高い位置にくると判断をしています。
- 道の駅も、場所の問題で、利益を上げ難い施設です。物販については、民間ですが、観光振興と、道路案内という機能を持っています。これに、物販を外してしまうと、この施設の意味が無くなってしまいます。ですので、あえて、機能を全て残してあります。今後の東海環状の完成に期待したいという意見でした。
- 板取中学校は、洞戸中学校への統廃合で、建物の利用を、今後考えていかななくてはなりません。
- 観光施設のおばちゃんの館、洞戸ふれあいらうんじ、板取コテージ湯屋は、民間に機能をそのまま持った形で移行させていきたいと思っています。



B. 上之保・武儀エリア 3班

- 小学校、保育園、中学校、事務所機能については、必要性が高い、公共性もあるという位置づけです。
- 温泉、道の駅は、民間利用されていますので、必要性はありますが、民間で出来ると予想されますので、公共性が低い位置づけです。
- 公共性が高いもので、利用率が低いものとして、富之保老人憩いの家、上之保体育館を上げております。



B. 上之保・武儀エリア 4班

- 必要性も高く、公共性も高いのが、保育園、学校、行政です。低い方にあるのは、上之保体育館の使っていないところです。
- 観光として、キャンプ場は、使う時期が夏だけです。期間が限られています。ですので、低い位置にもって来ています。温泉や、道の駅はお客さんがたくさん来ますので、必要性を高い位置に持ってきています。観光振興のものは、民間でもできると思います。
- ひとつ、機能だけ飛び出しているものがあります。診療です。上之保診療所は、診療の日にちを少なくしてしまっています。建物自体はなくても、機能は、上之保の中の施設に残して欲しいです。



C. 関・武芸川エリア 5班

- 必要性も高く、公共性も高いものが、学校、事務所、ふれあいセンター、中央公民館です。市の中心部にあり、必要性も公共性も高いです。
- 他の班と違うのは、保育園です。保育園は民営化でもいいという意見がでましたので、公共性を低い方を持って来ています。
- 文化会館など、アピセ関、勤労会館は、あまり必要でなく、民営化でもよいです。民間の企業でも、会館の貸し出しはできると考えました。
- 温泉、健康プール、中濃公設市場は、公共性が低いと考えます。民営化でいいと思います。
- 武芸川の道の駅も、民営化できればいいと思います。



C. 関・武芸川エリア 6班

- 知らない施設がたくさんあり、名前だけで分けたという部分もあります。ご了承ください。
- 5班と、同じ様な傾向になっています。特徴的な所は、枠の外、民間の部分です。必要性は高くても、民間でよいものは、公設地方卸売市場です。これは、元々、市が持っているのがおかしいという意見が出ました。そして、温泉、道の駅です。これらは、民間へ移行したいです。
- 必要性が低く、民間でよいものは、アピセ関、関市の勤労会館です。篠田桃紅美術空間は、行った事がないです。班のメンバーは、見に行ったことがないということでした。
- 必要性は高いが、公共性が低いものとして、保育園を挙げています。待機児童がないということでしたので、民間でやっていただけたらと思います。
- 関の町の中には、お年寄りの為の施設が、似たようなものが複数ありました。しかし、必要性は高いですし、公共性も高いです。
- 学校、市役所、事務所、学習センターは、公共性も高く、必要性も高いところに分類しました。



3. アドバイザーからの講評

皆さん、お疲れ様でした。よく話し合われて、検討されたと、拝見しました。

実際、ご自分の地域の、公共施設を見ていかがでしたでしょうか。お話を伺ってみますと、ご自分が利用しない所は、詳しくは分かりません。また、これが、市の施設だったということを初めて知ったという方もいらっしゃいました。改めて、このように地域の公共施設を見直してみる、それぞれが持っている情報を話し合っ共有することが、第一歩として、大事だったと思います。



結果として、いろんな考え方があり、形もそれぞれです。先ほど、4班を拝見しましたら、すごく慎重に、両端に貼られていました。考えている時に、データを1つ1つ確認しながらやっておられました。ご自分の印象と、実際の稼働率、利用率をデータで見ると違うということがあります。それぞれ、個別の施設の評価を聞くと、なるほどと同意される部分があったと思います。

今日の成果を持ち帰っていただいて、地域の施設を違った目で見直していただけたらと思います。ご自分と違う年代の方に、話を聞いていただけたらと思います。自分は使わないけれども、子供達が使う、お母さん達が使うということがあります。そういう、立場が違う人の意見を聞くと、また違った見方ができると思います。

また、次回よろしくお願ひします。